



長門の話題

Topics

仙崎に金子みすゞのブロンズ像 みすゞの姿がよみがえる

仙崎のみすゞ通りに、金子みすゞのブロンズ像が設置され、12月8日(火)、市民や金子みすゞファンなど約100人が出席してお披露目会が行われました。



▲仙崎みすゞ通りに面した小さな公園に設置された

仙崎地区の活性化を図ろうと、金子みすゞブロンズ像設置実行委員会(木下敬介会長)が全国各地の407人から約94万円を寄附を集め、東京造形大学の小川幸造教授に制作を依頼、ほぼ等身大のみすゞのブロンズ像が制作されました。みすゞの娘の上村ふさえさんや安倍首相夫人の安倍昭恵さん、矢崎節夫金子みすゞ記念館館長、大西市長らによって除幕が行われた後、式典で木下会長は、「ブロンズ像のみすゞ通りをやさしいまなざしで見守ることで、通りが元気を取り戻し、仙崎や長門市の活性化につながってほしい」と話しました。また制作者の小川教授は、「みすゞさんらしさを出すのに苦労しました。何度も詩を読み、自分なりのみすゞさんの姿を想像しました。これから、像を大切に守っていただきたいと思えます」と述べました。



▲歌をプレゼントしたみすゞ保育園の園児や矢崎館長と記念撮影

金子みすゞ記念館に150万人目の入館者 開館から12年8カ月で達成

平成15年4月の開館から12年8カ月を迎えた金子みすゞ記念館の入館者が11月17日(火)、150万人となり、記念セレモニーが行われました。

大西市長から花束を、矢崎節夫館長から金子みすゞ童謡全集を手渡された高橋さんは、「150万人目の入館者ということで、とてもびっくり、驚いています」と話しました。大西市長は、「この仙崎地区はこの記念館を核としてまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。今後新しい見所も増えていく予定ですので、またぜひお越しください」と歓迎し、矢崎館長も「記念館を訪ねてみようと思っただけでうれしく思います。仙崎はこれからはみすゞさんで元気になります。お贈りした詩集を読んでもみすゞさんの詩を楽しんでもらえれば」と語りました。

全国障害者スポーツ大会で上位入賞 これからも練習に励みます

10月に和歌山県で開催された全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」に出場した深川中2年の村岡翼輝さんが11月17日(火)、市役所で市長に入賞を報告しました。村岡さんは「50m平泳ぎ」で36秒02を記録し3位、「50m自由形」では自己ベストとなる27秒90を記録し2位となり、出場した2種目でメダルを獲得しました。



▲2つのメダルが光る村岡さんと大西市長

オーブンカー・ミーティング 長門にオーブンカー集結!

地域活性化を目的に、日本自動車連盟(JAF)と長門市観光コンベンション協会主催のオーブンカーミーティングが11月22日(日)、青海島観光基地で初めて行われ、県内外愛好家の愛車70台が集結、訪れた観光客ら約600人でにぎわいました。



▲国産車、輸入車のオープンカーが集結

俵山イチニチレストラン&チンドングランプリ 俵山温泉街がイベント会場

11月21日(土)・22日(日)、長門地域の食材をPRしようと「俵山イチニチレストラン」が俵山温泉街で開催されました。初日は市内外から5団体が参加して「第2回チンドン・グランプリ」が行われ、華やかな衣装で口上や楽器演奏を行いました。温泉街を練り歩きました。



▲参加者の皆さん。山陽小野田市の「スマイルな種まき」がグランプリ

夜には、温泉街で長門の食材を使ったビュッフェ形式のバーや、閉鎖されている川の湯の浴場をキャンドルで彩りお酒が楽しめる「温泉バー」が開店し、人気を集めました。翌日は約30種類のグルメが温泉街に並び、そば打ち体験や大道芸人によるステージイベントなども行われました。



▲閉鎖されている川の湯で開かれた「温泉バー」

経験を つづり税金を考える

12月8日(火)、税に関する関心を一層深めてもらうことを目的に毎年国税庁が募集を行っている「税に関する高校生の作文」の表彰式が、大津緑洋高校大津校舎で行われました。応募された123編の中から長門税務署長賞に選ばれたのは大津緑洋高校1年の里居

圭吾さんで、「税金への思い」をテーマに、消費増税について考える中で、自身が大けがをして病院に通っていた際、治療費の大部分を税金により支えてもらった経験などを作文にし、「自分も働いたお金で税金を払っていききたい」と思いをつづりました。



▲表彰を受けた里居さん(中央)

自然薯栽培に俵山の主婦3人が挑戦

栽培を続けていきたい

30年以上自然薯(じねんじょ)の自然栽培に取り組む俵山地区では、高齢化により生産者が年々減少しているところですが、今年4月から、同地区の主婦、河野八千代さん、花岡真美さん、河地由香里さんの3人が黒川区の増野孝久さんの指導で栽培に挑戦

しました。そして、11月29日(日)に初収穫を迎え、増野さんと共に注意深く土を掘り返すと、40〜70センチの自然薯が現れました。

栽培に取り組んだ花岡さんは、「とにかく楽しいです。ぜひ来年も続けたいと思います」と話しました。



▲増野さん(手前)の指導で収穫

青少年の健全育成のために

12月5日(土)、教育委員会別館で、青少年の健全育成を図ることを目的とする「第8回家庭の日フォトコンテスト」と「よいこと表彰」の表彰式が行われました。

小中学生対象のフォトコンテストでは32点の作品の中から、日置小1年の中村亮太郎さんの「じいちゃん、きもち

いい？」が最優秀賞に選ばれました。

地域・社会に貢献する個人や団体の功績を表彰する「よいこと表彰」には2団体と3個人が選ばれ、小学校の緑化委員会活動や児童会活動、長年にわたり青少年健全育成活動に従事したことなどに対し表彰状が授与されました。

受賞者の皆さん(敬称略)

「家庭の日フォトコンテスト」
 ▼最優秀賞 中村亮太郎(日置小1) ▼優秀賞 原田英承(日置小1) 松永翔太(日置小5) ▼入選 村田駿(仙崎小1) 中村優佑(日置小5) 松崎あまね(日置中1)

「よいこと表彰」
 ▼明倫小緑化委員会(緑化活動) ▼浅田小児童会(あいさつなど児童会活動) ▼福田怜生(仙崎中3年)(けがをした犬を救う) ▼安森美嗣・加茂善成(青少年市民会議地区会長として活動)



▲表彰を受けた皆さんと育成市民会議の関係者



このまちの温かさが、大好きです。

赤川 早紀 さん

(油谷郵便局 / 深川湯本門前区)



熱血！新鮮力

※仕事は 郵便や貯金、保険を取り扱う窓口業務です。ミスをしないこと、お客様の気持ちをくみ取ることを心掛けています。

※就職のきっかけは 高校卒業後、進学のため一度長門市を離れましたが、帰ってきたという気持ちが強くなり地元での就職を決めました。

※休日の過ごし方は 音楽鑑賞でリフレッシュしています。友人や家族と一緒に地域のイベントなどへ出かけ

ることもありますね。

※長門市の好きなところは 食べ物がおいしいところ。特にやきとりが好きで、友人と市内のお店を巡っています。

※今後の目標は お客様に頼ってもらえるような社員を目指して、一日でも早く仕事を覚えることです。

※最後に一言 地元に戻り、あらためて人の温かさを実感しました。大好きなこのまちに、これから恩返しができると思います。



トップリーグの試合でアピール

キャンプ招致を訴える

社会人ラグビー「トップリーグ」の試合が11月21日(土)山口市の維新百年記念公園陸上競技場で行われ、ラグビーワールドカップ2019日本大会に向けた長門市のキャンプ招致の取組について大西市長が周知活動を行いました。

試合は2試合行われ、約5千人の観客は選手の迫力あ

るタックルやトライなど華麗なプレーを楽しみました。

第1試合終了後、大西市長がグラウンドに登場し、「長門市はラグビーワールドカップ日本大会でのキャンプ招致活動を行っています。ぜひ皆さんの温かいご支援をよろしくお願いします」と来場者に応援を呼びかけました。



▲スタンドに向かい、招致活動をアピールした大西市長



▲リコー対ホンダ、キヤノン対NTTドコモの2試合が行われた